福井いきいき会新聞

2023年7月
発行：福井いきいき会：福井市中央1-9-29：0776-28-6464
発行責任者 吉岡副会長

一生勉強　一生感動　一生青春　（第54号）

美しく咲いた百合の花

例会にもっと参加しよう

例会は、個々のサークル活動に参加している会員が一堂に集まる唯一の行事でありますから、会からの様々なお知らせをお伝えする最も大事な行事であります。したがって、これまで出席されなかった会員方々にも、ぜひ参加していただきたいと思います。参加することによって、当会の他のサークルにも参加してみようと思うことが多くなると思います。

それによって、新しいお友達も増えていくでしょう。

当会は、教養、音楽、健康、娯楽などとバラエティ―にとんだ二十六ものサークル活動を展開しているたぐいまれな団体です。しかも、基本的には、参加時に百円をいただくことで運営していることも、特筆すべき特徴です。会員の皆さんには、複数のサークルに積極的に参加されておられる方が多いのですが、中には一つのサークルだけに参加されておられる方も少なくはありません。特に、当会の拠点である福井駅前のよろず茶屋以外で開催されるサークル活動（いきいきピンポン、カラオケうた会、うたのサロン、芸能倶楽部、手作りの会）のみに参加されている会員の方は、当会の他のサークル活動がどのようなサークルなのかといったことや、当会の活動方針や諸施策、会計、今後の例会講演などについて、十分な情報が伝わっていないのではないかと思われます。

当会では、諸活動を多くの方々に知っていただくために、毎月この福井いきいき会新聞を発行しています。定期的に購読されておられる方や、拠点の福井駅前よろず茶屋にもおいてある新聞を直接持って帰られる方々は、会の動きや情報を得ることができますが、活動拠点以外の会場で参加される会員の方々には、新聞を受け取る機会もないので、会の情報が十分に届いていないのではないかと思っています。

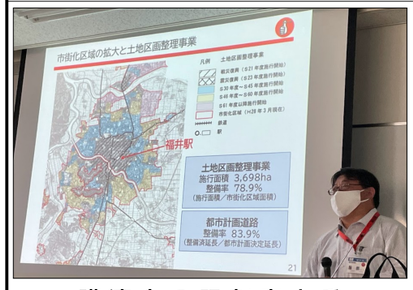
アオッサで開催される当会の例会は、一時からの三十分間は、当会からのお知らせとして、サークル活動の新設や終了のお知らせ、映像を使った実施中のサークル活動の詳しい紹介といった当会の活動方針や活動状況の報告、会計報告、今後の例会講演の予定などの報告をしていますし、次月の行事予定表なども配布しています。そのあとが講演会で、一時半から一時間半ほどの時間をとっています。

新型コロナのパンデミックが始まる前は、例会の参加者は、七十～八十人程度でした。ところが、アオッサの会場が使用禁止や、人数制限が行われてきた結果、今は参加者が四十人程度と半減し、最近では、三十人ほどの時もあるほどです。

例会は、繰り返しますが、当会にとって会員全員が集まる唯一の行事であり、会からのお知らせとして多くの情報をお伝えする重要な行事でありますから、毎回七十名以上の参加者があるよう会員の皆さんのご参加を改めて強くお願いしたいと思います。

例会講演の概要、福井市都市計画課の主査服部康之氏による「福井駅周辺の街つくり」

五月二十五日（木）、アオッサ七階の会議室で行われた題記のご講演は、（一）福井市の街つくりの歴史、（二）福井駅周辺のまちつくり、（三）民間活力を生かした県都リノベーション～行政から民間の取り組みへ、というの三つ括りで詳しく福井市の街つくりの足跡と今後の計画のお話をされました。



講演中の服部康之氏

（一）の福井市の街つくりの歴史では、五百五十年前に一条谷から柴田勝家が遷都した北の庄の城下町、江戸時代の福井城を中心とした城下町、さらに明治大正時代に外堀が埋められ福井駅や県庁が建てられ、現在の福井市と変遷してきた福井の中心地の様子を、古地図や多くの貴重な写真の数々を使って説明されました。

（二）の福井駅周辺の街つくりでは、戦災や福井地震で壊滅した福井市の映像や、それらの災害を契機に進められた中央大通りや大名町待ちロータリーなど復興土地区画整理事業の詳細や、市街化区域の拡大、ピアやベルなどの大型ショッピングセンターの開発などの経緯を話されました。そして、近年では、北陸新幹線開業に向けての福井駅周辺のまちづくりとして、大きな効果があった福井駅付近の連続立体交差事業、福井駅周りを人・モノが集積する拠点としてアオッサとハピリンを作り、観光交流センターの整備も行われたこと、現在は、駅廻りからその外側へ広がる街つくりとして、県庁線、中央公園、城址周

りの再整備、養浩館庭園およびその周辺の一体整備などが行われたこと、さらには、福井駅西口の再開発として路面電車・バス停車場を駅前広場に集約したこと、ハピリンに併設されたハピテラスの整備など、いずれも整備前後の違いを豊富な写真で紹介され、近年の福井駅を中心とする再開発が、綿密な都市計画のもとに行われたことを紹介されました。

（三）の民間活力を生かした県都リノベーション「行政から民間の取り組みへ」では、現在進行中の民間による三つの市街地再開発事業である福井駅前電車通り北地区「A街区」、市街地開発事業として、「まち」から「まち」をかえる取り組みの「ふくみち」の具体例、官民連携で取り組む恐竜プロモーションの内容をこれらも豊富な写真で紹介されました。

以上、服部氏のご講演で、福井市の都市計画が実に綿密に行われ、それが我々市民が目に見える形で着々と実現していることを知ることができて感動するとともに、引き続き、福井駅周辺の中心地区が魅力的になっていくことを期待したいと思った次第です。

よろず茶屋の椅子の座布団

当会の拠点である福井駅前よろず茶屋には、二階の部屋だけでも三十五脚ほどの座椅子がありますね。お気付きの方も多いと思いますが、これらの椅子にはすべて座布団が備わっています。どなたが、座布団を用意されたのでしょうか？実は、これらの座布団は、運営委員の山口悦子さんが提供されたものです。市販品ではなく、生地は古着からとり、不要になった綿を集め、一つ一つ手作りされた座布団です。山口さんは、昨年秋に越前鉄道福井駅の駅舎内のベンチにも十三枚の座布団を提供されたとのことです。

よろず茶屋では、椅子は、テーブルのところに置いたものと、入って左側の壁面に沿って並べられたものがあります。この壁面の前の椅子に座ると、正面のスクリーンに投影される映像が前の人の影になって見えにくいと思っておられる方もあるかと思います。山口さんは、それらの場所に座ったときに少しでも座高が高くなった方がよいのではないかと考えて、今これまでの座布団に重ねる座布団を作ろうとしています。その話を聞いた運営委員の奥島さんと松島さんは、それなら、座布団の材料である綿を提供しますと協力を申し出ておられます。誰かに命令されたものでもなく、自主的に会員の便利さを考えての行動です。ありがたいと思いませんか。

会員の中には、よろず茶屋の中を掃除したり、ごみ箱のごみを持ち帰ったり、室内を整頓して、気持ちよく参加してもらえるように常に目を配っておられる方々や、映像音響装置、無線マイク、空気清浄機などの器具類の整備や、壁面を飾る作品などの展示を自主的にやってくださる方々もおられます。これらの方々に感謝しようではありませんか。

会員の皆さんも、良い会場になるために気づいたことを実行したり、提案したりすべて、ボランティア活動で支えられていることを再認識し、みんなで会に貢献できるようにしていきましょう。

手作りの座布団

福井県民のおもてなし改革運動について

福井康人

六月十三日（火）に開かれた当会の運営委員会に久しぶりに参加させてもらいました。私の後を引き継いでくださった小林会長をはじめ、運営委員の方々の元気なお顔を拝見してホットしました。

久しぶりに出席させてもらったのは、別途皆さんに説明したいと思いますが、社会に役立ちそうな運動を考えていることをお知らせしたいと思ったためです。また、新聞にも書いてもらいたいと思ってここに投稿しました。

会員の皆さんは、いろいろなサークル活動に参加されていると思います。私は、サークル活動に参加するだけでは年齢を重ねるだけで、何となくむなしさを感じるので、新幹線開通までに、チョッピリ社会に役立ちそうな運動として「福井県民のおもてなし改革」をやろうと考えています。

具体的な構想は、十月二十日(金)の午後一時からハピリン四階ボランティアセンターに於て会合を開き、お話するつもりですが、多くの県民が、新幹線で来県する方々を心からおもてなしできるような運動を起こしたいと思っています。このような運動を成功させるには、夜明けの会の皆さんや、賛同していただける有志の皆さんのご意見を反映させることや、いろいろな方の協力をお願いしなければなりません。すでに、県の優秀な担当者数名およびデジタルアート専門のスタッフにお願いをしています。できれば学生さんなど若者の皆さんにもご賛同願えればと思っています。さらに、今春初当選された県会議員四人もお招きし、実行可能な運動にしていきたいと考えております。敦賀までの北陸新幹線が開通する来年三月までに、県民のおもてなし改革を実践できるように運動を進めないと意味がないと思っています。

私は、かねてより高齢者が楽しく元気で仲間つくりを目指していくのが夢でありますが、今回のおもてなし改革運動に関しましては、は会員の皆様のご意見をお待ちしていますので、どうかよろしくお願いします。

私への電話は、090-4325-0463にお願いします。

カラオケうた会は、百回目を迎えます

増永　一夫

令和五年六月二十三日(金)カラオケうた会は、百回目を迎えます。カラオケボックスで多くの皆さんが唄われた素敵な歌の数々ありがとうございました。初めの頃は、今は廃業してしまったカラオケボックスのシダックスに皆さんが集まって、演歌や演歌系のポップスなど思い想いに唄ったのを思い出します。その後会場がコートダジュールに変わりましたが、童謡も含めいろいろなジャンルの歌やデュエット曲も数多く唄われたのを思い出します。歌のタイトルや歌の内容によってはいっぱい元気をもらいましたよね。歌を聴く時も歌を唄う時もワクワクしながら楽しんでましたよね。私は、主に新曲を唄うようにしていますが、新曲を初めて唄うのは戸惑うこともありましたが、何曲も唄ってると自信も付いてきました。心にひびく歌にはいつも魅了されることでしょう。

当サークルは長年吉岡副会長がリーダを務められ、いつも和気あいあいと歌を楽しみました。昨年の二月からは、私増永が担当しています。このところ三年ほどは、コロナのために参加者が少なくなっていましたが、ようやく以前のようにぎわいが戻ってくるようになってきました。嬉しいですね。

今後はもっと雑な感じでもいいので、声を思いきりだして唄いたいです。強弱の表現も大切ですが、高い音を出せるようになれば、余裕をもって唄えるんですがね(笑)。只今仲間を募集中です。

１００回記念のカラオケうた会

川柳同好会

六月の優秀句

すぐあきて集中力にも見捨てられ　千田　節子

政怒り値上げラッシュに老い厳し　林　進

病む身には紫陽花の花救われる　上坂　征夫

その度にこれが最後と想う年齢　南部　歳子

八十路過ぎ貯金と貯筋が減るばかり　新田ヨシエ

朝散歩薬にサポーター重装備　大野　勉

箸苦戦煮っころがしが逃げ回る　澤村　玲子

AIに作った人も教えられ　吉岡　芳夫

痩せる器具届いた途端やる気失せ　吉田美恵子

大臣の答弁棒読み相手見ず　高谷三恵子

オーダーは年寄り泣かせのタッチパネル　小坂　武士

インタホン押して答えるワンこちゃん　増永　一夫

ロボットはハートを持たないお手伝いさん　松島　成美

お年寄り惚けたふりする業をもち　小林　久子

七月二十一日開催の歴史の会の講演内容（予告）

「北陸の高山右近」

講師　井上　清一氏

「高山右近」の名前をお聞きになると、キリシタン大名だったとか、キリスト教を捨てなかったため、豊臣秀吉に領地を召し上げられたことなどを思い浮かべられると思います。

ところで、高山右近は、三十六才から六十三才まで前田家加賀百万石に保護されており、二十七年間も金沢や能登に住んでいたことはあまりご存知ないのではないかと思います。前田家でも高山右近の多方面に渡る高い能力が認められ、一万五千石を拝領し、小田原攻めや関ヶ原にも従軍しています。さらに、金沢城の拡張や高岡城の築城の指揮も執っていました。

また、前田利長（利家の長男）に、「謀反の動きあり」と徳川家康と対立した時は、右近の政治力のお陰で戦争を回避して前田家を守っています。この辺りを皆さんにお話したいと思っています。ぜひ、ご参加ください。

高山右近の立像

生成AIは、絵を描くこともできる

吉岡　芳夫

当新聞の前号（六月号）に、チャットGPTは、世の中を変えるほどの可能性があるとして、使い方や実例の記事を書かせてもらいましたが、この分野は生成AIと言われるように文章だけではなく、画像の生成もできる万能能力を持っています。今回は、マイクロソフトのBing のイメージクリエーターというAIを使って絵を描かせて見ました。左の絵は、ピカソ風の子供の絵を描いてと入力して出てきた絵です。面白い時代になってきましたね。

AIが描いたピカソ風の絵

令和五年七月の行事予定

例会講演　演題「これまでの歩み、これからの歩み」

講師　斎藤重一氏

大工棟梁として、木造建築に新風を吹き込んでこられた建築家の斎藤氏が、手がけられた建築物の数々や、今後の構想をお話しされます。期待して、聴講しましょう。

易しい科学の話

次世代電池の大本命　全固体電池

電気自動車（EV）普及の鍵となる次世代電池の本命候補は、液体を使わない「全固体電池」。リチウムイオン電池の弱点の発火の危険性を大幅に抑え、より大きなエネルギーを蓄えられると期待され、世界中の研究機関や企業が開発を進めています。トヨタ自動車は昨年、全固体電池を積んだ試作車の映像を公開しました。日産自動車も二〇二八年までに実用化を目指します。

この全個体電池とはどんなものでしょうか。易しく解説します。

講師　吉岡副会長

歴史を楽しむ会

「北陸の高山右近」

講師　井上　清一氏

講演内容は、本誌の三ページに記載しました。

映画観賞会

七月四日佐々木担当の洋画は、底抜けシンデレラ野郎、チップス先生さようなら、地上より永遠に、が上映の候補。七月十八日吉岡担当の邦画は、遠き落日、幸福の黄色いハンカチ、遥かなる山の呼び越えが上映候補です。見たい映画を選べるこの会にぜひご参加ください。

インターネット世界旅行

マレーシアを見にいこう

マレーシアは、ダイバーが憧れる有名なリゾート・アイランドのランカウイ、多種の生命を育むジャングル、東西交易で多様な文化を育んだ世界遺産の町マラッカとジョージタウン、高層ビルやショッピングモールが立ち並ぶ首都クアラルンプールなど見どころは驚くほど多岐にわたっています。

案内　吉岡副会長

首都のクアラルンプール

気軽にカラオケ

新型コロナの感染拡大が始まる前までは、よろず茶屋で気軽にカラオケを楽しんでいました。コロナが第五類に分類された今、これを再開いたします。

主宰者　吉岡　芳夫

令和５年７月の行事予定表

土	曜日	活動場所	開始時間	行事名
1	土	B	13:00	卓話を聴く会
2	日			
3	月	B	13:00	合唱サークル(57)
4	火	市体育館	13:00	ピンポンの会
		B	13:00	映画鑑賞会
5	水	B	13:00	経済指標を考える会
6	木	B	13:00	囲碁将棋
7	金	ハピリン5F	13:30	芸能クラブ
		B	13:00	よろず討論会
8	土			
9	日			
10	月	B	10:30	手作りの会
		B	13:00	新聞記事を読む会
11	火	B	13:00	運営委員会
12	水	B	13:00	囲碁将棋
13	木	B	13:00	易しい科学の話
14	金	市体育館	13:00	ピンポンの会
		B	13:00	YouTubeを楽しむ会(4)
15	土	ハピリン4F	10:00	私の健康法
		ハピリン4F	13:00	川柳同好会
16	日			
17	月	別会場	13:00	手作りの会
		B	13:00	短歌の会
18	火	市体育館	13:00	ピンポンの会
		ハピリン4F	10:00	楽しい暮らし方
		B	13:00	映画観賞会
		ハピリン4F	13:30	芸能クラブ
19	水		13:30	うたのサロン
20	木	B	13:00	囲碁将棋
21	金	B	13:00	歴史を楽しむ会
		ハピリン4F	13:00	夜明けの会
22	土	B	13:00	気軽にカラオケ
23	日			
24	月	B	13:00	新聞記事を読む会
25	火	B	13:00	音楽鑑賞会
26	水	市体育館	13:00	ピンポンの会
		B	13:00	ネットで世界旅行
27	木	ｿｵッサ706,707号室	13:00	例会
28	金	コートダジュール	13:00	カラオケうた会
29	土			
30	日			
31	月			

健康麻雀は 3階のA室で、13:00 開始 毎週火、金、土、日に開催